

東京都商工会報

題字は、山下光一前名誉会長

2007年
3月号

Vol.
274

発行所：東京都商工会連合会

〒190-0012 東京都立川市曙町3-7-10 多摩中小企業振興センター内 発行人：桂 教夫
TEL 042-525-6821 FAX 042-525-0899 <http://www.shokokai-tokyo.or.jp/> 印刷所：明誠企画株式会社



ないよう

- ◆ 盛大に賀詞交歓会
- ◆ 19年度観光立島シンポジウム事業は小笠原村で開催
- ◆ 第6回多摩工業交流展を開催
- ◆ ギフト・ショーで多摩地域の観光をPR
- ◆ 「駅ナカ」の課税を強化
- ◆ 三鷹商工会が安全安心パトロール
- ◆ 東久留米市商工会が設立45周年記念式典
- ◆ 商工Q&A
- ◆ 多摩・島しょ地域のイベント

賀詞交歓会、たま工業交流展

2年ぶりに当連合会が開いた賀詞交歓会（上段左）は、各界から大変、多くの来賓が出席。にこやかに新年の挨拶を交わしました。都女性部連合会の賀詞交歓会（上段右）には国会議員が初めて参加。議員から挨拶をいただきました。

一方、多摩地域におけるモノづくりの最大の展示会である「第6回たま工業交流展」(下段)は141企業・団体・学校がピカピカの自慢の技術・製品、それと事業を披露。来場者に関心を持つよう強くアピールをしました。（2、3、4面参照）

盛大に賀詞交歓会を開く

桂会長「衆知を結集。 これまで以上の努力で新しい道を」 と決意を述べる

華やいだ中で新年をスタート

当連合会は1月16日、立川市内のホテルで盛大に賀詞交歓会を開きました。東京都の島田健一産業労働局長、経済産業省関東経済産業局の脇本眞也局長、国会議員、都議会議員、市長ら来賓84名が出席、80名の商工会関係者とともに新年を祝いました。当連合会の交歓会は05年以来、2年ぶりの開催です。挨拶に立った桂教夫会長は「時代の大きなうねり中で商工会も、産業界も、社会も曲がり角に直

面している」と指摘。「これを持ち切るには衆知を結集。これまで以上の努力をしないと新しい道は開けない」と語り、新年に臨む決意を示すとともに、事業運営への協力を呼び掛けました。また、島田産業労働局長は「東京の産業、多摩の産業力の強化に全力を尽くしていきたいが、何よりも商工会の皆様のご協力が不可欠」と商工会の今後の活動へ期待を述べました。(1面参照)



和やかな懇談が続いた賀詞交歓会

石川昌宏副会長が「胸襟を開いて年の初めを談論風発で飾っていたいただきたい」と開会の辞を述べ、交歓会を始めました。

まず、桂会長が主催者挨拶。

桂会長は①小規模・零細企業の景況感は決して良くないこと②会員は減少しているが、それぞれの地域で商工会が事業者に対し重要な役割を果たしていること③多摩地域が地理的、産業的にも大変、恵まれ、「多摩シリコンバレー」として将来の発展が期待されていることなどに触れました。



主催者挨拶をする桂会長

島田産業労働局長「モノづくり、人づくりの多摩拠点をつくっていききたい」

こうした上で桂会長は志を同じくする者が力を合わせて難しい問題にどう対応するかという意味を指す、菅原道真公の言葉である「和衷協同」を採り上げ、「衆知を結集。これまで以上の努力をしないと新しい道は開けない」とし、決意を示すとともに、事業運営への協力を呼び掛けました。

また、職員の再教育に取り組んでいることや、収益事業推進にまい進していることも紹介。最後に「政治と行政、そして、産業界がお互いの持分を踏まえて協力し合ったときに、必ず新しい風が吹くと期待もしている」としました。

続いて三人の来賓の方から挨拶をいただきました。

協本関東経済産業局長「ヤル気と能力のある地域を応援。多摩はそういう地域」

島田産業労働局長は昨年末、東京都が発表した、東京の十年後の未来像を示した報告書「十年後の東京」と産業労働局の十九年度の施策と予算について触れました。

「十年後の東京」では目標が八つあることを紹介。「ビジネスチャンスに繋がるのでご活用、ご支援をいただきたい」と述べました。

十九年度の施策と予算では「モノづくり、人づくりの多摩拠点をつくっていくたい」、「商工会への支援については前年度並みの予算を措置」とし、この上で「商工会の皆様が協力が不可欠」と話しました。

協本真也関東経済産業局長は景気



来賓挨拶をする島田産業労働局長

の実態や、経済産業省の施策を述べた後、「ヤル気と能力のある地域を重点に応援をしていきたい。正に多摩地域はそういう地域」と語りました。

三田敏哉東京都議会議員は決まったばかりの都の十九年度予算について商工予算確保に尽力したことを紹介。「皆さんと一緒に手を携えて多摩のより充実、発展のために全力でまい進することを都議会を代表してお誓い申し上げます」と力を込めました。

三人の来賓挨拶の後、羽村市の並木心市長・東京都中小企業対策審議会委員が演台に立ち「充実した年でありますように」と音頭を取り、参加者全員でグラスを挙げました。

懇談に入って保坂三蔵参議院議員は「大企業、製造業、外需専門に回復してきた経済をいかに広げるかが今年のテーマだと思っている」と来賓祝辞を述べました。

華やいだ雰囲気の中、東京都の幹部、経済産業省幹部、国会議員、都議会議員、市長ら錚々たるメンバーが揃った新年賀詞交歓会は一時間余

に亘って歓談が行われた後、神石實副会長の中締めで閉会をしました。

も連合会
都女性部
賀詞交歓会
廣瀬会長
「山でも動かせる会に…」
と呼び掛け

東京都商工会女性部連合会は一月二十四日、立川市内のホテルで新年賀詞交歓会（1面参照）を開きました。交歓会に先立ち、新春講演会も開催しました。交歓会には会員、それと桂教夫・当連合会会長、坂爪正二・同専務理事、波多野章裕・東京都商工会青年部連合会会長、松本洋平・衆議院議員ら来賓、合わせて百十二人が出席。華やいだ雰囲気の中、新年を祝いました。

交歓会で主催者挨拶に立った廣瀬可世子会長は「地域社会、市民社会



「元気な会に…」と廣瀬会長

を良くするのは異業種の会」という緒方貞子・前国連難民高等弁務官の発言を紹介し「本当に我々はその通り。私達こそが地域社会を良くする異業種の会」としました。そして「私達、商工会女性部というのは各市で影響力のある方達の集まり。だから、もっと結集をして山でも何でも動かせるような元気な会としたい」と力を込めました。

続いて祝辞を述べた桂教夫・当連合会会長は①政治の場に現場の変化を届けるため地元の政治家と接点を是非、持つこと②商工会の地域経済団体としての役割がどんどん膨らみ、これとともに地域の大企業、中堅企業も会員としていかなければいけないこと③横田基地軍民共用化のインパクトが大きいことを話しました。続いて、松本洋平・衆議院議員から来賓挨拶をいただきました。松本洋平議員の出席は女性部賀詞交歓会に初めて国会議員が出席をするということになりました。

この後、波多野章裕・東京都商工会青年部連合会会長の音頭で乾杯をし、歓談に入りました。

新春講演会は講談家の桃川鶴女さんが「多摩の歴史と今後の行方」をテーマに講演をしました。

19年度観光立島シンポジウム事業は小笠原村で開催

18年度島しょ商工会地域活性化対策研究会議で決定

当連合会は二月七日、東京・海岸のアジュール竹芝で平成十八年度島しょ商工会地域活性化対策研究会議を開き、十九年度観光立島シンポジウム事業について検討をした結果、小笠原村で開くことを決めました。実施時期については、六月を候補に予定しています。専門家や地域興しに取り組む関係者が集まって島の活性化策について話し合うシンポジウム事業については、これまでに伊豆諸島全てで実施。小笠原村での開催のみが未実施となっていました。

平成十一年度で第一回を開催した同事業はこれで島しょ地域全ての島で実施することになります。



小笠原村での開催を決めた島しょ会議
度観光立島シンポジウム報告②島の現状について商工会からの報告③全国の島しょ地域の活性化事例と伊豆、小

笠原諸島の活性化に向けて話を合いました。

①は三宅島で開いたシンポジウムについて評価を出し合ったものです。②は六商工会の会長、事務局長がそれぞれの事業運営の現状、課題について

141企業・団体・学校が技術・製品、事業活動を紹介

第6回たまたま工業交流展

当連合会・商工会、会議所、行政、金融機関など多摩地区の関係機関でつくるたまたま工業交流展実行委員会は二月十六、十七の両日、立川市内の国営昭和記念公園みどりの文化ゾーンで「第六回たまたま工業交流展」を開きました。交流展では出展をした百四十一企業・団体・学校が技術・製品、事業活動を紹介・PRし、当連合会は経営相談、創業相談に応えました。

二日間で一万一千四百人が来場しました。

同展は域内の企業・団体・学校の事業内容や活動を互いに知り合い、理解をし、潜在力を秘めた多摩地域のモノづくり力をさらに、高めていくという狙いです。

報告をしました。

③では全国の島しょ地域の先進的な活性化への取り組みを紹介しました。

冒頭、桂教夫会長は「商工会は商工会の歴史の中で一番の転換点を迎えている」とし「どれだけ、この世の中の変化に対応できるかが、これからの大きな課題だ」と挨拶しました。

初日は午前九時半から会場で当連合会の桂教夫会長や実行委員会を構成する十五商工会の会長、工業部会長、立川、昭島、羽村市の市長らが出席して開会式（一面参照）を行い、岩崎泉実行委員会委員長らが挨拶。また、脇本真也関東経済産業局長も出席して来賓挨拶をしました。

交流展では初日にパレスホテル立川で基調講演、出展企業交流懇親会も開きました。

「東京商人塾」、資金マッチングセミナー」を開催
当連合会

当連合会は一月二十七日から土、日ごとに五日間、国立市の「せきやホール」でサラリーマン、OL、主

婦、学生らを対象に新規開業に必要な知識やノウハウを体系的に教えるセミナー「東京商人塾」を開きました。

参加者は「ビジネスプランの作成と開業の手続き」、「資金調達と助成金の活用方法」、「効果の上がる営業・販売促進」など盛り沢山の講義に熱心に耳を傾けていました。

同セミナーは創業、開業を後押しするのが狙いです。当連合会、並びに多摩地域の二十一商工会は今年度、創業支援セミナーを多摩全域で展開。今回のセミナーはそれらの「ステップアップコース」という位置づけで実施しました。

当連合会はこのセミナーに続いて、起業の最終ステージについても支援していくために二月十七日から二十四、二十五日の四日間、参加者それぞれが立てたプランでビジネス資金を調達する知識と「技」を学んでもらう「起業家資金マッチングセミナー」も開催しました。



熱心な質問が飛んだ東京商人塾

ギフト・ショーで 多摩地域の観光をPR

当連合会

二月十三日から四日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「第63回東京インターナショナルギフト・ショー春2007」の全国



コーナー
見本市
コーナー
に当連合
会は出展、
多摩地域

の観光をPRしました。

ショーでは多摩地域の集客交流を促進するために、各商工会管内の観光地を紹介するパンフレットやウォーキングマップを来場者に配布。また、名所をパネルで展示、紹介をし、観光地としての多摩の魅力アピールしました。

11社を表彰

「第4回多摩ブルー・グリーン賞」

当連合会、並びに多摩地域商工会が後援をし、多摩地域の中小企業

を按分をし、鉄道施設は従来通り、商業施設は周辺の路線価に基づいた評価を行うようにするというものです。

鉄道用地の固定資産評価の見

「駅ナカ」の課税を強化

19年度から実施へ

直しについて
は、かねてから東京
都が問題提

これは「駅ナカ」の商業施設については「鉄道用地」として周辺路線価の三分の一と低く抑えられてきたものを、国が固定資産評価基準を見直し、改めるものです。

見直しの内容は鉄道施設と商業施設とに床面積の割合で敷地面積

起をしてみました。見直しの時期についても次期の評価替えとなる二十一年度が東京都の働きかけから十九年度となり、同年度から実施されることになりました。当連合会も都へ是正を行うよう要望書を出していました。

優れた技術や経営手腕を評価する、

多摩信用金庫の「第4回多摩ブルー・グリーン賞」の表彰式が十二月二十日、立川市内のホテルで開かれ、技術・製品部門の多摩ブルー賞に七社、経営部門の多摩グリーン賞に四社、合わせて十一社を表彰しました。式には関係者百二十人が出席、十一社の受賞を祝いました。

「多摩ブルー・グリーン賞」は、地域企業による技術開発や経営戦略の創造の活力にと実施しているものです。受賞企業は次の通りです。

- 【多摩ブルー賞】(最優秀賞) ▼セキコーポレーション(優秀賞・特別賞) ▼オーサワエンジニアリング(優秀賞) ▼アートビーム▼テイ・エムハンズ▼N.A.S.技術▼武陽ガス ▼吉本製作所
- 【多摩グリーン賞】(最優秀賞) ▼京西テクノス



表彰式
の表彰式
特別賞) ▼
クオンタム
ジャンプ
ジャパン▼
トリデ▼
ピーシーリ
ンク

「心をひとつにして 運動を展開」と大会宣言

北方領土の返還を求める
都民会議が第25回都民大会

歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方四島のロシアからの返還が一向に進展していない中、北方領土の返還を求める都民会議の第25回都民大会が一月二十九日、東京・西池袋の東京芸術劇場で開かれ、「心をひとつにして北方領土返還運動を力強く展開していく」とする大会宣言を採択、四島一括返還を強く求めていくことを改めて確認しました。

大会は開会の辞の後、川島霞子会長が「戦後六十二年。今にも四島が帰ってくるかと希望を持ったことも何回あったが、今は前途がちよつと暗い。しかし、私どもは希望を失わ

ないで、一歩、一歩、様々な運動を展開してこれからに備えていきたい」と主催者挨拶をいたしました。



都民会議の第25回都民大会

三鷹商工会が安全安心パトロール 地域づくり、街づくりに積極的参加 市と覚書に調印

商工振興だけでなく地域づくり、街づくりに積極的に関わり、地域に貢献をしていきます。こうした考えから、三鷹商工会は、三鷹市と「安全安心・市民協働パトロール」について、一月十日、深沢精一会長、清原慶子市長との間で覚書を交わし、安全安心のパトロールを始めました。同商工会では平成十一年度に三鷹市と①市と協力をして災害時の後始末を行う②市が実施をする防災訓練に積極的に参加をする―を主な内容とする、災害時における協力に関する協定書を締結。安全安心のパトロールはこれに続く市との協力の第二弾となります。このように今回の安全安心のパトロールは市との協力をさらに、推進することになります。



調印後に市長を囲んで

会員だけでなく、市民の目線に立った事業の取り組みが必要と取り組むことにしました。安全、安心の街づくりは六つの十

八年度重点事業の一つです。

パトロールでは会員事業所二百五十社が市の用意したステッカーを商工会を通じて一社当たり二枚を受け取り、これを会員が営業車などに貼って行います。不審事と遭遇したときは警察にどう通報をし、どう対応するかを知っておかなければならないため一時間程度のセミナーを

東久留米市商工会が設立45周年記念式典 経済界、政界、行政の関係者ら100余人が祝う

東久留米市商工会は一月二十二日、東久留米市商工会館で商工会設立四十五周年記念式典と祝賀会、並びに会員新年会を開きました。式典には桂教夫・当連合会会長、木原誠二衆議院議員、加藤公一衆議院議員、野



多くの人が集まった記念式典

崎重弥東久留米市長、都議会議員、市議会議員ら経済界、政界、行政の関係者らと会員、合わせて百余

受けてステッカーを受け取ります。三鷹市には自治会などを通じ市と個人、或いは事業所が個々に対応をした、ステッカーを貼った車がすでに二百五十台ほどがパトロールをしています。商工会との覚書の交換でこれに五百台が新たに加わってパトロールをすることになります。

覚書により会員であればステッカーを貼ることができ、これまでのように市と個々に対応をしないで済みます。

周年を機に、会員にとってより身近で頼れる商工会であり続けたい」と話しました。

式典では桂教夫・当連合会会長、野崎重弥東久留米市長らが来賓挨拶をしました。

また、式典では功労者と永年勤続優良従業員の表彰を行い、功労では役員、青年部、女性部の各功労者二十九人を、永年勤続では十七人をそれぞれ表彰しました。

人事交流

〔1月1日〕▽武蔵村山市・補助員

(新規採用) 高橋大樹

(2月1日) ▽三宅村・補助員(記

帳専任職員) 壬生伊津子▽同・記帳

専任職員(補助員) 平野剛

〔退職〕(12月31日) 西東京・補助員 千葉岳史

お詫び

このたび、商工会カレンダー(平成19年経営歳時記ポスター)における3月第1週目の日付、及び8月、9月の土曜日と日曜日の配色に印刷ミスがあり、会員の皆様に多大なるご迷惑をお掛けいたしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

今後はこのような事のないよう、再発防止に細心の注意を払ってまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年3月

東京都商工会連合会
(株)プリントショップ国分寺

商工Q&A

Q 十九年度、地域の農産物や文化財、温泉などを活用した中小企業の取り組みに国の色々な支援が受けられる事業が始まると聞いています。私どもの異業種交流会で挑戦してみようかと思えます。詳しく教えてください。

〔C商工会異業種交流会メンバー〕

これならできる！ 地域の強みを宝に変える「資源活用プログラム」

A ご質問の事業は、十九年度、国が予定している「中小企業の地域資源活用プログラム」事業です。中小企業などが地域を見直し、自らの「強み」である資源を掘り起こし、磨く取り組みを国が力強く支援する施策です。地方のハンディキャップをカバーするために各種の応援プログラムを用意しています。

《農産物から医療用商品開発へ》

例えば、①地元の農産物の成分を調べた結果、健康食品にとどまらず、医療用にも需要が見込めるケース。②優れた伝統的技術を活かしたいが、なかなか発想が浮かばないケース。

こんなとき、商品開発や販路開拓の専門家の派遣支援や異分野の協力、資金的援助を得て、商品化や事業化の途が開かれる。そして、世界市場への雄飛も夢ではありません。

このように埋もれている地域資源を発見し、磨き、新分野等へのチャレンジ・事業化を応援するプログラムです。農業・工業・商業との連携、まちづくりや観光、伝統的文化など地域密着のさまざまな組み合わせで宝探しが行われます。

この新規事業のポイントは、

- ① 地域主導
 - ② 販売やブランドに精通した人材
 - ③ 従来の垣根を超えた力の結集
 - ④ 大都市・海外市場を視野に入れる
- の四つです。
- 五年間で一千の新事業創出をめざし、十九年度百億円超の予算を予定しています。

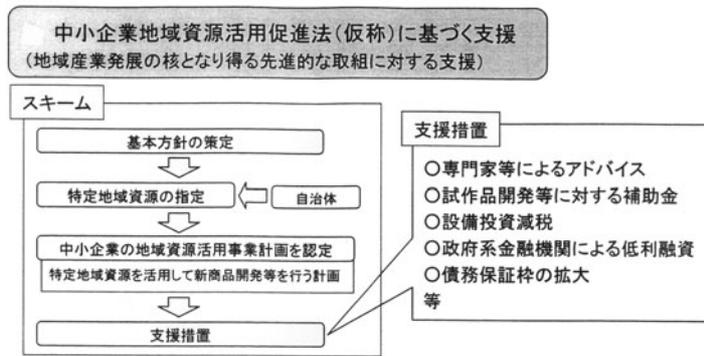


回答者
嘱託専門指導員
下地龍二郎

《六省庁がバックアップ！》

国は支援の仕組みとして、先進的な取り組みに対しては六つの省庁が協調するバックアップ体制を準備しています。大きな波及効果が見込まれる先進的な取り組み事例には、成功まで導く支援を行う態勢です。国が認定し、強力な支援が受けられるよう法律（仮称「中小企業地域資源活用促進法」）を制定する予定です（左図参照）。

具体的には、地方、地域の商工会等の商工団体、観光協会などが施策



の受け皿となり、各種マッチングの場の提供や交流会開催などコーディネート役となり、外部パートナーとのつなぎ役ともなります。地元の農協・漁協や伝統的な技術・技能の保存団体などとの連携や公設の試験研究機関との協力体制も期待されます。施策の概要は以下になります。

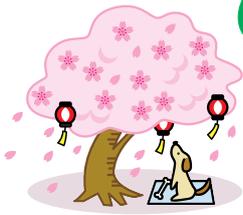
《ビジネスアイデア構想段階》

① 交流会や研究会開催で地域中小企業と外部の人材やビジネスパートナーとのコーディネート活動を支援。
② 研究機関と連携して地域資源の実用化研究開発をする場合の委託費支援。

《事業実施段階》

① アイデアはあるが売れるかどうか不安、消費者ニーズを把握したい、そんな時は専門家の派遣支援
② 事業の評価、事業計画のアドバイスの支援
③ 試作開発や展示出品したいが資金がない時や、商談会やアンテナショップの開設など販路開拓面での資金支援
④ 試作品ができたが生産設備導入の資金がない、そんな時はファンドによる出資支援
⑤ その他低利融資や減税の支援策があります。

具体的には、経済産業省、中小企業庁、各商工会、東京都商工会連合会等にお尋ねください。



のんびりと春風に 誘われるままに

多摩・島しょ
地域のイベント

大特集 Part14 (3月-4月)

日 程	イベント名	会 場	内 容	問合せ先		
2月 4月 28日(水) (土)	おがさわら丸 入港日(16:00) おがさわら丸入 港翌日(19:30) おがさわら丸 出港日(13:00) 3月17日(土) 18:00	小笠原くじらフェスタ	三日月山展望台	くじらの陸上観察会	小笠原村観光協会 04998-2-2587	
			ビジターセンター	くじら博士のナイトレクチャー		
			船客待合所	郷土芸能ミニステージ		
			おまつり広場	メインイベント(Tシャツコンテスト、 郷土芸能など)		
3日(土)	三原山ハイキングと伊豆大島童謡唱歌の集い	三原山と大島公園を廻ります。	懐かしい童謡唱歌を歌いながら廻ります。	東京都レクリエーション協会 0424-90-0012		
3日(土)~ 4日(日)	都知事杯争奪囲碁大会	開発総合センター(元町)	地元愛好家、島外参加者との交流親善 囲碁大会	(社)大島観光協会 04992-2-2177		
17日(土)	ひので朝市	ひのでグリーンプラザ駐車場	商業部会員等による即売会。普段、お 店で販売している商品を格安で提供。	日の出町商工会 042-597-0270		
17日(土)~ 18日(日)	八丈島産業祭	八丈町コミュニティセン ター	漁業・農業・商工業者による特産物等 の展示、販売	産業祭実行委員会 04996-2-1221		
21日(水)	ミス大島・椿の女王撮影会	波浮港(11:20~12:00) 大島公園(13:00~14:30)	ミス大島、椿の女王をモデルに撮影会 を実施	東海汽船予約センター 03-5472-9999		
3月	23日(金)~ 4月22日(日)	はむら花と水のまつり	□さくらまつり(3月23日~ 4月10日)・羽村堰周辺 □チューリップまつり(4月 11日~22日)・根搦み前水田	□さくらまつりでは、玉川上水沿いに 咲く桜と羽村堰との調和が楽しめます。 □チューリップまつりでは、20品種36 万本のチューリップを満喫できます。	羽村市観光協会 (羽村市商工会内) 042-555-6211	
	24日(土)	「羽村山口軽便鉄道」廃線 跡と武蔵村山里山散策	武蔵村山市内	ウォーキングイベント(箱根ヶ崎駅~ 武蔵村山市内~上北台駅)	主催:JR東日本他 協力:武蔵村山市商工会	
	24日(土)	ウルトラランニング大会	大島1周と三原山へ	標高差500mの大島1周100*を走ります。 ます。	(社)大島観光協会 04992-2-2177	
	25日(日)	〔風の祭り2007〕 from Niijima	新島高等学校体育館	鑑賞する芸能文化から参加する芸能文 化へ 和太鼓の競演	新島風神組 04992-5-1111	
	1月28日(日)~ 4月10日(火)	椿まつり写真コンクール (都知事杯)	元町港船客待合所	椿まつり風景、椿の花、大島の風景の 写真を応募してください。	(社)大島観光協会 04992-2-2177	
	30日(金)~ 4月8日(日)	ふっさ桜まつり	永田橋~睦橋の多摩川堤防 沿い	太鼓、ジャズ演奏、民謡パレードなど のイベント	ふっさ桜まつり実行委員会 (福生市役所) 042-551-1511	
	31日(土)~ 4月1日(日)	くにたちさくらフェスティ バル	谷保第三公園	30回記念イベント開催	くにたちさくらフェス ティバル実行委員会 (国立市産業振興課商工係内) 042-576-2111 (内線147)	
	4月	1日(日)	第29回さくらまつり	六道山公園	野点、お雛子、大道芸、ハイキングラ リー	瑞穂町観光協会 042-557-3389
		14日(土)	風のおわら	羽村市生涯学習センター ゆとろぎ周辺	町流し、演舞	風のおわら実行委員会 042-570-0144

商工会会員の みなさまへ

2006年度上半期の業績は、会
員のみなさまの深いご理解と幅
広いご支援をいただき、順調な成
果を上げることができました。
今後も商工会様とのパートナ
ーシップを尊重し、会員のみなさ
まから最も信頼される生命保険会
社を目指してまいります。

2006年度上半期報告より

2006年9月末日現在

ジブラルタ生命保険株式会社

コールセンター 0120-372289 ミナジブロック
ホームページ <http://www.gib-life.co.jp>

基礎利益

310 億円

ソルベンシー・マージン比率

1,124.5%

通常の予測を超えて発生するリスクに対
してどの程度「支払余力」を有しているか
を判断するための指標のひとつです。

保険料等収入

2,444 億円

個人保険新契約高

1兆298 億円

格付け

S&P社
保険財務力格付

AA-

ムーディーズ社
保険財務格付

A1

2006年10月末現在

格付けは格付会社の意見であり、保険金支払等について保証するものではありません。